

2015 年度育成強化選手の活躍

国際大会 世界やアジアのランキング大会

【全国】 年齢別、小中高の国内最大の大会

《関東》 全国大会につながる関東地区最大の大会

JOP 国内プロ選手を含めたランキング大会

◆茨城◆ 茨城県中学テニス、昨年に続き単複制覇！（関東大会決定）
5/3～6 に、茨城県・笠松運動公園で「第 45 回茨城県中学生テニス選手権大会」が行われ、丹下将太(中 3)がシングルスで決勝を含めわずか 3 ゲームしか落とさないという断トツの強さで優勝。準優勝には 1 年生の松尾滉哉またダブルスでは小林良徳、松尾滉哉の中学 1 年生ペアがいきなり優勝するとい快挙を成し遂げました。これにより「関東中学生選手権」への出場権を手に入れました。



男子シングルス
優勝 丹下将太(右)
準優勝 松尾滉哉(左)
(丹下に敗退)

男子ダブルス
優勝 小林良徳、
松尾滉哉

●関東公認大会(G4c) 「TTC14 歳以下ジュニアテニストーナメント in オータム 2015」

9/19～21 に吉田記念テニストレニングセンター(TTC)で行われた 128 ドローのこの伝統ある大会において、協会強化育成選手の成長株である松尾滉哉がすべての試合での失ゲーム数を 3 以下に抑えるという圧倒的な強さで優勝を飾りました。



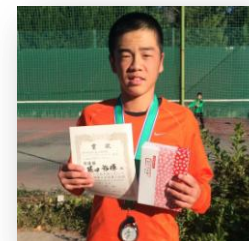
●関東公認大会(G4c) 「日本スポーツ振興協会ジュニアテニストーナメント 2015」



14歳以下男子シングルス
小林良徳 準優勝
14歳以下男子ダブルス
松崎稜太郎 準優勝
16歳以下男子シングルス
藤田裕暉 優勝

●関東公認大会(G4c) 「Verde Cup 山梨北杜ジュニアテニストーナメント」

4/29～5/10 に山梨県 Club Verde でおこなわれた「2015 Verde Cup 山梨北杜ジュニアテニストーナメント」(関東公認大会グレード 4C)が行われ、当協会強化育成選手の藤田裕暉と小林良徳と遠藤出帆の 3 名がエントリー上位 32 ドローを勝ち上がり 14 歳以下男子シングルスでベスト 4 入りし、準決勝で同門の遠藤を下した第 1 シードの藤田が決勝でもノーシードから勝ち上がった同門の小林を下し、優勝を果たしました。また、丹下将太(16 歳)は上の年齢枠 18 歳以下に参加し、男子シングルスで決勝をも 8-2 と昨年の 16 歳以下優勝に引き続き 2 年連破を成し遂げました。



14 歳以下男子シングルス
藤田裕暉 優勝
小林良徳 準優勝
18 歳以下男子シングルス
丹下将太 優勝

●関東公認大会(G4c) 「第9回 Mt Fuji 山中湖ジュニアテニストーナメント」 JOP 「HEAD REBELS CHALLENGE 2015 Kanagawa」

6/6～13 に山中湖周辺のテニスコートで行われた関東ランキング大会(グレード 4C)のこの大会、12 歳以下男子シングルスにおいて、当協会新人の松崎稜太郎が大きな身体を生かした積極的なテニスを行い、予選 256 ドロー、本戦 32 ドローのマンモス大会で準優勝を獲得し、将来性を大きくアピールしました。また、9/19～23 に大磯プリンスホテルテニスコートで行われた JOP ランキング大会ではノーシードから第 2・第 5・第 1 シードを連破し見事優勝し、全国大会「Tomas Cup」への出場権を獲得しました。



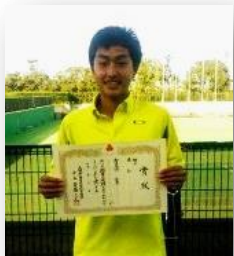
●関東公認大会(G4c) 「笠間市長杯ジュニアテニストーナメント 2015」 中 3 が高校チャンピオンを下して準優勝！



9/21～28 に笠松運動公園テニスコートで行われたこの大会において中学 3 年(15 歳)の丹下将太が、18 歳以下の上位年齢枠に挑戦しました。本戦 1R で茨城県高校生 No1 の第 3 シードを下した勢いをそのままに、関東でも上位クラスの高校生たちを退けて準優勝を獲得するという離れ業を披露しました。また、16 歳以下では予選を 3 戦勝って本戦に進出した金東鉉(キムドンヒョン)が第 1 シードを下してベスト 4 に進出しましたが、同じく予選を 3 勝した藤田裕暉に本戦 2R に勝利した第 3 シード選手に惜しくも敗れました。

◆茨城◆ 茨城県高校生 No.1 に 決勝では圧勝！

5/3 に神栖海浜運動公園テニスコートで行われた、「関東高等学校テニス選手権茨城県大会」で、第2シードで臨んだ黒澤陸人くんが準決勝では 7-5 での接戦を耐えてものにした勢いで、決勝を 6-1 で飾り茨城県 NO.1 の座を手に入れました。



《関東》

また、6/7 に千葉県の子テニスリゾートで行われた「関東高等学校テニス大会」においては、インターハイの前哨戦でもあり、そのシード決めの大事な大会でもありましたがベスト 32 という残念な結果に終わりました。

JOP プロ選手を目指して 「東京オープン 賞金総額 100 万円大会 優勝！」

<http://www.tokyo-tennis.jp/TokyoOpen/2016/top2016.html>

52 回を数える伝統ある「東京オープンテニス選手権」。一般女子選手の日本ランキング大会では賞金総額 100 万円大会は数が少ない(20 万・50 万が多い)という事もある、国内一般のランキング上位選手だけでなくトップジュニア選手もたくさん参加したこの大会、国内ランキング 296 位の押野紗穂は予選ノースードから 3 試合を勝ちぬき、本戦でもプロ選手を含む国内の有力選手をすべてストレート勝ちという驚きの内容で 5 試合、計 8 試合を勝ち抜き見事優勝を勝ち取りました。

強化育成選手時の全日本 Jr18 歳以下 3 位という実績をもって慶応大学に進んだ彼女は 1 年生でいきなりインカレ(全日本大学生テニス選手権)ベスト 16、インカレインドアはベスト 8 と、育



成強化選時代からの大物食いをここでもいかに発揮し、随所に将来性を見せてくれています。

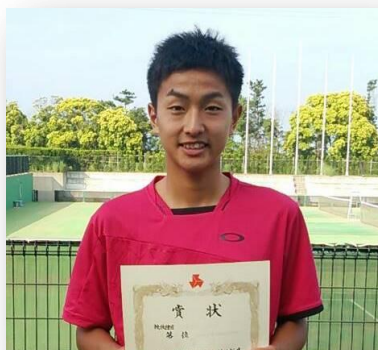
なお、1 年先に同じ慶応大学に入学した育成強化選手 OB の韓成民(慶応大学 2 年)とともにすでにチームの主力となり、関東大学 1 部リーグ女子優勝・男子準優勝に貢献しています。

《関東》 反省点の多かった関東最大のジュニアテニス大会 「第 89 回 関東ジュニアテニス選手権大会」

7/19～24 に千葉県白子テニスリゾートで行われた「関東ジュニアテニス選手権大会」、全日本ジュニア選手権の選考会ともいえるこの大会でしたが、12 歳以下、14 歳以下～18 歳以下と 2 歳ごとの区切りの中で、期待できる選手たちの多くが下の年齢だったこと、怪我を抱える選手も多かったことなども影響してか、申乾浩のベスト 8 が最高位で辛くも全国大会への切符を手に入れました。近年、優勝や 2 位など協会育成選手の好調がこの大会では続いていただけに、今回は全体的に目標遠く及ばずの残念な結果となってしまいました。特に体調管理の問題が浮き彫りになり、新たな取り組みが必要となりました。

18 歳以下男子シングルス 1 回戦 黒澤陸人
16 歳以下男子シングルス ベスト 8 申乾浩
ベスト 32 丹下将太
男子ダブルス ベスト 16 丹下・中野組
ベスト 32 申・大島組
14 歳以下男子シングルス ベスト 64 小林良徳
ベスト 64 藤田裕暉
ベスト 64 遠藤出帆
女子シングルス ベスト 64 申ジホ
女子ダブルス ベスト 32 申ジホ組
12 歳以下男子シングルス ベスト 32 松崎稜太郎
男子ダブルス ベスト 32 松崎稜太郎組

◆茨城◆ インターハイ出場決定！ 「茨城県高等学校テニス選手権大会」



5/23～5/31 に神栖海浜運動公園テニスコートにおいておこなわれた「茨城県高等学校総合体育大会テニス競技兼全国高等学校総合体育大会テニス競技茨城県大会」は、県のインターハイ出場者を決める重要な大会。第 1 シードで臨んだ黒澤陸人(つくば国際東風高校 3 年)は、第 8、5 シードを 6-2 6-3 と安定したプレーで破り決勝では惜しくも敗れ準優勝となりましたが、「近畿インターハイ」への切符を手に入れました。

【全国】全国中学生のトップ 3！ [全国中学生テニス選手権大会 2015]

福島県会津若松市の会津総合運動公園テニスコートで、8 月 21 日(金)～24 日(月)に、『第 42 回全国中学生テニス選手権大会』が行われ、茨城県中学テニス選手権を優勝、関東中学生選手権をベスト 8 で進出し、この全国で第 9～16 シードをもらって臨んだ丹下将太(中 3)は、破壊力のあるフォアハンドを軸に、角度のあるボールと速い展開で、3 回戦で、第 3～4 シード選手と各上の選手を 8-5、準々戦では 8-6 と次々強敵を退け、全国 3 位という素晴らしい戦績を残しました。



【全国】「全国選抜ジュニアテニス選手権大会 U-13/2015」

12歳で出場…全国13歳以下6位！



10/16～18 に岡山県浦安総合公園テニスコートで行われた13歳以下の全国大会。12歳で関東7位の成績で出場権を獲得した申ジホは大きな体を生かした「国内最強のフォアハンド」(大会関係者談)を随所に披露し、会場を沸かせました。メンタル面が安定してくれば取りこぼしも減って全国制覇も十分に期待できるでしょう。

【全国】「第42回 全国中学生テニス選手権大会」(団体の部)

★★ ついに、全国制覇達成！ ★★



8/18～20、会津総合運動公園テニスコートで行われた「全国中学生テニス大会」において、当協会強化育成選手5名を擁する青丘学院つくば中学チームが、全国の頂点に立ちました。学校が発足して2年なので、1・2年だけのチームで、さらに7名に満たすために2名のテニス初心者をダブルスに加え、実質ダブルス1つ、シングルス3つの計4試合のうち3試合に勝たないといけな

い状況の中で、茨城県、関東地区、全国と、ほぼ3年生が主力の古豪・強豪チームと渡り合い、薄氷を踏む場面も多々あった中、メンタルと絶対的な体力のアドバンテージで切り抜け、見事全国制覇を成し遂げました。

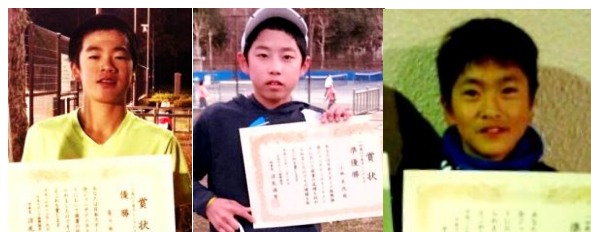
写真前列左から、遠藤出帆(2年) 後列選手左、金東鉉(2年)
藤田裕暉(2年) 右 申コーチ
松尾滉哉(1年) (協会強化育成担当)
小林良徳(1年)

現在、選手全員が、土浦市立第二中学校へ移籍し、新一年生(強化育成選手)も補充されH28年の県団体戦では全て5-0、失ゲーム数もほぼ0という完全優勝でした。関東及び全国制覇に向けて邁進中。

●関東公認大会(G4c)

「日本スポーツ振興協会ジュニアテニストーナメント 2015」

12月5日(土)～13日(日)に、つくば市二の宮公園テニスコートで、「日本スポーツ振興協会ジュニアテニストーナメント 2015」が行われ、16歳以下では128名ものトーナメントを藤田裕暉が制するなど強化育成選手の成長を結果で示してくれました。



12歳以下男子シングルス
田子開翔 ベスト8
14歳以下男子シングルス
小林良徳 準優勝
14歳以下男子ダブルス
松崎稜太郎 準優勝
16歳以下男子シングルス
藤田裕暉 優勝

国際大会 ATF 14/U JAPAN

Sutama International Junior Tennis Tournament

「須玉国際ジュニアテニストーナメント 2015」



7/4～7/10 山梨県、クラブベルデで行われたアジアテニス連盟(ATF)による14歳以下のアジアランキングを決める「須玉国際ジュニアテニストーナメント 2015」において、申ジホが本戦入りし、過去の全国覇者に勝利するなど、見事ベスト16入りました。これにより ATF ポイントランキングを330位から、200番台に入れることが可能となりました。

2015 ダンロップジュニア 白子 in サマー

千葉県テニスリゾート白子で7/4～5に行われたこの大会において、昨年12歳以下で優勝した松崎稜太郎が14歳以下男子シングルスで初日をリーグ優勝し、2日目の1位トーナメントにおいても厳しい状況を跳ね返すなど強化育成選手としての自覚を十分に発揮し、優勝を果たしました。また、彼に続く強化育成選手の予備軍たちも、この大会で大いに成長し将来性を感じさせてくれました。



●関東公認大会(G4c)

「第24回ダンロップ杯茨城ジュニア大会」

8/10～13に筑波万博記念コートで行われたランキング大会の「ダンロップ杯茨城ジュニア大会」において14歳以下男子シングルスで、協会育成強化選手の遠藤出帆(14)が一回戦から決勝まで6-0、6-1、6-1、8-0、8-2と他の選手を寄せ付けず、見事優勝を果たしました。

◆茨城◆ シングルス優勝2位3位独占！ ダブルス男女ともに優勝！

「第32回茨城県中学生新人テニス選手権大会」

8/24～27に笠松運動公園で行われた中学1・2年生で行うこの大会において、当協会の金東鉉(キムドンヒョン)が優勝、遠藤出帆が2位、松尾滉哉が3位と男子240名の参戦中、上位を独占。ダブルスにおいても藤田裕暉・遠藤出帆組が優勝、松尾滉哉・小林良徳組が2位、また女子ダブルスでは申ジホ・韓喜陣組が優勝、県内で、強化育成選手たちの圧倒的な強さが目立ちました。



(男子シングルス)	優勝 金東鉉	(男子ダブルス)	優勝 藤田・遠藤組
	準優勝 遠藤 出帆		準優勝 小林・松尾組
	3位 松尾 滉哉		

◆茨城◆ 「全国選抜ジュニアテニス選手権大会 U-13、茨城大会」

男女ともに優勝、茨城県代表を勝ち取る！



国内で唯一 13 歳以下で行われる全国につながるこの大会は、全国の 13 歳以下ランキング上位者が目の色を変えて望む大変レベルの高いものです。協会強化育成の松尾滉哉と申ジホはともに決勝を 8-3 で下し、県代表として H28 年度に行われる「全国選抜 Jr テニス選手権大会 U-13・関東代表選考大会」に参戦します。

全日本ジュニアテニス選手権・関東大会への出場多数が決定！

◆茨城◆ 「第 35 回茨城県ジュニアテニス選手権大会」

3/27～29・茨城県・笠松運動公園で行われた、県内最大の大会であり全国大会へと続くこの大会で、強化育成選手の多数が県内上位を勝ち取り、関東大会へのステップを進めました。2016 年 7 月の「関東ジュニアテニス選手権大会」で上位入賞者は、最終目的の 8 月に大阪で行われる日本最大のジュニア大会「全日本ジュニアテニス選手権大会」へと進みます。

- | | | | |
|------------------|-----|-----------|----------|
| ＜ 18 歳以下＞男子シングルス | 3 位 | 申乾浩 | (関東大会出場) |
| 男子ダブルス | 2 位 | 申乾浩ペア | (関東大会出場) |
| ＜ 16 歳以下＞男子シングルス | 優勝 | 丹下将太 | (関東大会出場) |
| | 3 位 | 藤田裕暉 | (関東大会出場) |
| | 5 位 | 金東鉉 | |
| 男子ダブルス | 優勝 | 丹下将太ペア | (関東大会出場) |
| ＜ 14 歳以下＞男子シングルス | 3 位 | 松尾滉哉 | (関東大会出場) |
| | 7 位 | 小林良徳 | (関東大会出場) |
| 男子ダブルス | 3 位 | 松尾滉哉、小林良徳 | (関東大会出場) |
| 女子シングルス | 2 位 | 申ジホ | (関東大会出場) |
| 女子ダブルス | 3 位 | 申ジホペア | |
| ＜ 12 歳以下＞男子シングルス | 7 位 | 田子開翔 | |
| 男子ダブルス | 3 位 | 田子開翔・三浦侑也 | |



●関東公認大会

「第 17 回 ありのみカップ・冬」

1/5～3/8・千葉県のオールサムズテニスクラブ船橋にて行われたこの大会において、14 歳以下単で小林良徳が第 1、第 2 シードを破り優勝。16 歳以下では強化育成同門の決勝となり 藤田裕暉(左写真左)が金東鉉(右)を下して優勝しました。



◆茨城◆ 16 歳以下、海外派遣日本代表選考大会、茨城大会

「MUFG ジュニアテニストーナメント 2016 茨城県大会」

1 月 16 日に茨城県・筑波北部公園で行われた 16 歳以下の海外派遣選手の日本表を決める茨城県選考大会に位置する「MUFG ジュニアテニストーナメント 2016 茨城県大会」、県内 16 歳以下ランキング上位 64 名で行うこの大会、男子シングルスにおいて丹下将太が第 1 シードを守り切り優勝。また、14 歳以下ながら出場した松尾滉哉と小林良徳もそれぞれベスト 8 に進むという健闘を見せた。これにより全国大会への出場が決定となりました。



「HEAD REBELS CHALLENGE 2015 Tokyo」U14

「第 5 回ちばぎんカップ hills 蘇我オープンジュニア大会」U16

あきらめない、テニスへの情熱、そして地道な努力を積み重ねた結果、近年めきめきと力をつけてきた北原優輝が 2 大会連続の上位進出(上段:ベスト 4、下段:準優勝)を果たし、今年度から正式に強化育成メンバーの一員として登録されました。H28 年度は高校生となる彼の今後の期待されています。



JOP「HEAD REBELS CHALLENGE 2015 Ibaraki」

同門決勝、3 名が全国大会へ出場！

優勝者と 2 位が全国大会への参加権利を得られるこの大会(10/24:青丘学院つくばコート)、14 歳以下で藤田裕暉と遠藤出帆の同門決勝となり、藤田に軍配が上がりました。この結果により、同大会神奈川地区 12 歳以下で優勝した松崎稜太郎とともに 3 名の強化育成選手が全国大会にあたる「Tomas Cup」への参加権利を獲得しました。